



希望の鐘 The Bell of Hope



The Y's Men's Club of Kawagoe
〒350-0046 川越市菅原町 7-16
tel:049-226-2491 fax:049-226-2304
c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 26-04 10月号 発行 2023年10月12日 Chartered 1998

会長 山本 剛史郎 クラブ会長主題「温故知人」スローガン「明日に向かって新しい出会いを！」
 副会長 松川 厚子 国際会長 Ulrik Lauridsen 氏(デンマーク)
 会計 吉田 公代 主題“Let Your Light Shine”
 書記 吉野 勝三郎 (輝かそう、あなたの光を)
 アジア太平洋地域会長 利根川 恵子(川越)
 主題“Be the light for change”
 (変革のために光となろう)
 東日本区理事 山田 公平 (宇都宮)
 主題「未来のために今、学びと気づきを！ 未来のために、自信を育み、真の喜びに出会おう！」
 関東東部部長 長尾 昌男(千葉ウエスト)
 主題「YMCAとY's協働で、目指そう地域に繋がる奉仕を！」

10月の聖句

それはただ一日であり、主に知られている。
昼もなければ、夜もない。
夕暮れ時になっても、光がある。
ゼカリヤ書 14章 7節

It shall be one day Which is known to the Lord--
Neither day nor night. But at evening time it shall
happen That it will be light.
Zechariah 14:7

11月の予告ですが、3日(金)のチャリティーランが川越クラブの11月例会となります。



あなたが走るとハッピーになる子どもたちが増えます
第24回埼玉YMCA国際ショナル・チャリティーラン2023

The 24th SAITAMA YMCA International Charity Run



2023年11月3日(祝・金) ※文化の日

所沢航空記念公園内(北駐車場南側広場&特設コース)



- 主催■ 公益財団法人埼玉YMCA
- 全国後援■ 内閣府、厚生労働省、(福)全国社会福祉協議会、スポーツ庁
- 共催■ ワイズメンズクラブ国際協会東日本区、埼玉・所沢・川越ワイズメンズクラブ、公益財団法人日本YMCA同盟
- 後援■ 埼玉県*、埼玉県教育委員会*、(公財)埼玉県公園緑地協会、(福)埼玉県社会福祉協議会*、(福)所沢市社会福祉協議会*、所沢市*、所沢市教育委員会*、(一社)所沢市医師会*、(公社)所沢市鍼灸師会*、(一社)所沢市柔道整復師会*、(一社)所沢市歯科医師会*、埼玉県青少年団体連絡協議会*、(一社)所沢市薬剤師会* *申請中
- ナショナル・スポンサー■ Mitsubishi Corporation
- ブライズ・スポンサー■ MATTEL
- サポーターズ・スポンサー■ UP

9月統計(9月26日)

出席者 4名 出席率 44%

巻頭言

巻頭言「夕暮れ時に、光がある」

山本剛史郎

この「夕暮れ時に、光がある」という聖書の言葉は、私の勤めている川越キングス・ガーデン、その法人であるキングス・ガーデン埼玉の運営の理念として引用されている言葉です。人生の夕暮れ時に、暗く、寂しく過ごすのか、明るく、楽しく過ごすのかはとても重要なことです。人生の夕暮れ時に平安と喜びを持って過ごすためには現在の生活一日一日が大切だと思います。

9月例会報告

山本剛史郎

9月の例会は、恒例の埼玉3ワイズ合同例会でした。

日時:2023年9月9日(土)16:00~18:30

場所:埼玉 YMCA 所沢センター

埼玉3ワイズ(埼玉・所沢・川越)合同例会を埼玉 YMCA 所沢センターで行い、28名の方が参加してくれました。この合同例会は長尾昌夫関東東部部長の公式訪問になっており、高田一彦部書記、山本剛史郎(次期部長)、大澤和子会員増強主査も同行として参加しました。

内容は今年度8月にネパールで行われたAYC(アジア・太平洋地域ユース・コンボケーション)に参加した立教大学 YMCA の小見萌々花さん、菱山紀武さんによるAYC 報告会でした。二人はそれぞれ所沢クラブと川越クラブの推薦ということでAYCに参加し、東日本区、関東東部、それぞれのクラブからも支援を受け、参加しました。ネパールでは食事、文化の違いもさることながら、アジア・太平洋地域の異なる国の学生たちとの交流によって、様々な刺激を受けてきたことを報告されました。まだ帰国してから1か月も経っていないので、そこで学んだことが今後、どのように活かされるかは未知数ですが、二人とも立教大学の1年生でもあり、その貴重な体験は少しずつ人生に意味のあるものとなっていくと思います。

そのAYC報告会の後は、持ち寄り、購入したもので、所沢センター内で食事会を行いました。そこに浅羽俊一郎埼玉クラブ会長や衣笠輝夫メンの主導でキャンプソングが歌われたり、大澤メンによるゲームを行ったりと大変賑やかなものとなりました。それは長尾部長、高田書記が感想を述べていましたが、本当に「YMCA・ワイズらしい例会」となりました。

この合同例会はバタバタであったにもかかわらず、会館の場所を提供してくださった小谷全人埼玉 YMCA 総主事をはじめ、所沢クラブのメンバーが様々な準備、片付けをしてくださいました。他にも遠方から参加してくださった他クラブの皆様、発表してくださった立教大学学生など皆様の支援のもとに盛会になったことを感謝いたします。まさにワイズの信条「青少年のために YMCA につくそう」とあるように、これからもますます YMCA・ワイズメンズクラブ活動を盛り上げていきたいと思いました。

参加者(敬称略、50音順)

浅羽俊一郎(埼玉)、浅羽恵(埼玉)、池田美智子(チャリティーラン顧問)、上松寛茂(埼玉)、生川美紀(川越)、大澤和子(所沢)、大輪正史(リーダーOB)、小関京子(所沢)、衣笠輝夫(埼玉)、小林茂和(所沢)、小林恵子(所沢)、小林勉(所沢)、小谷全人(埼玉)、小見萌々花(立教)、坂本憲枝(所沢)、渋谷弘祐(所沢)、渋谷実季(所沢)、渋谷すみれ(所沢)、勝田のぞみ(埼玉)、菱山紀武(立教)、城田教寛(町田スマイリング)、高田一彦(千葉ウエスト)、長尾昌男(千葉ウエスト)、御園生好子(サンライズ)、宮地輝子(所沢)、山本剛史郎(川越)、山崎純子(川越)、吉田公代(川越)の28名



2023 アースデイ川越 in 昭和の街

利根川太郎

「アースデイ川越 in 昭和の街」が10月1日(日)に川越市蓮馨寺境内にて開催され、川越ワイズメンズクラブは、「高齢者疑似体験・古書再読」をテーマに掲げて参加いたしました。

山本会長をはじめ、山崎さん、吉田さん、生川さん、河合さん、利根川恵子と太郎の7名が参加して、楽しく活動しました。吉野さんは残念ながら当日の都合がつかみませんでしたが、前日までに「古書再読」に出品する本を選定して、仕分けておいてくださいました。松川さんもメールでエールを送っていただきました。川越クラブ9名のメンバーが力を合わせて、高齢者疑似体験、古書再読の他にも、「クラブ活動の広報」「紅あかチャリティプロモーション」「Y-フォレストコーヒー販売」「リサイクルバザー」に取り組みました。

当日は、早朝からYMCA川越センターの長谷川さんをはじめ若い方々に協力いただいて、本やバザー出品物の積み込みを行い、無事、会場に搬入することができました。この場を借りて御礼申し上げます。

10月に入ったというのに曇天で蒸し暑い一日でしたが、午後を中心に多くの方に来場していただき、たいへん盛況の内に活動することができました。特に、古書は若い方から年配の方まで、また海外の方も混じって手に取っていただき、好評でした。中には家が近いということで、ご自身が読み終えた本をお持ちくださった方もいらっしゃいました。

お隣のブースでは埼玉YMCA川越センターが「バスケットゴールチャレンジとモルック」で参加し、こちらも子どもさんを中心に多くの来場者を集めて盛況でした。

午後3時の閉会に合わせたように大粒の雨が降り始めましたが、いざというときのチームワークがとても良いのが川越クラブのメンバーです。機敏に短時間で後片付け、撤収を行うことができ感謝しています。

川越クラブのブースでの寄付及び売上は以下のようになりました。古書再読の本は、差し上げていますが、ワイズメンズクラブの活動にご理解を頂いた方からのご寄付です。

古書再読	5,440 円
コーヒー	5,600 円
物品各種	8,550 円
合計	19,590 円



国際の舞台から “Keiko’s Monthly Briefing of YMI/ASP”

国際議員・アジア太平洋地域会長 利根川恵子

いよいよ、アジア太平洋地域大会せまる

ホンコン！ 香港！ Hong Kong!

11月3日から3日間にわたって開催される第30回アジア太平洋地域大会が、いよいよ一ヶ月を切りました。現在のところ、海外からの参加者が175名、香港から340名の予定で、合計で500名を超える大会となるようです。日本からは、東西日本区合わせて約90名が登録済みとなっています。埼玉3クラブからは、川越クラブの山本会長、吉田さん、生川さん、我々と妹夫婦の計7名、埼玉クラブ・衣笠輝夫さん、所沢クラブ・大澤和子さんほか2名と、計11名が参加予定です。また、アジア太平洋地域ばかりでなく、韓国、インド、アフリカからもデリゲーションの派遣が決まりました。たくさんの方に参加していただき、感謝です。

内容も詳しく発表されています。第1日目(11月3日)は、17時30分から開会行事、地域会長就任式、晚餐会等に獅子舞など伝統文化の披露があります。第2日目は

終日エクスカージョンで、帰着後、18時30分から夕食およびカルチャー・ナイトと題して、各区の発表が繰り広げられます。東日本区は例年、東京江東クラブの鈴木雅弘さんが獅子舞を踊ってくださるので、それをみなで盛り上げます。最終日、3日目は地域会長報告、AYC報告、IBC締結式、2025熊本大会のアピールなどで閉会となります。

アジア太平洋地域会長としてはすでに7月1日から就任しておりますが、この大会で500名以上の参加者が見つめる中で、改めて厳かに就任式を行っていただくことをたいへん光栄に存じております。と同時にその重責に身の引き締まる思いです。

アジア太平洋地域大会がつつがなく、成功裡に終了することを願っています。

YMCA報告

<ひとり暮らし体験>

9月30日(土)-10月1日(日)1泊2日にひとり暮らし体験を川越センターの4階の各部屋にて行いました。中学生と高校生1名ずつプログラムに参加しました。

参加前は「将来、ひとり暮らしはしたくない」と述べていたメンバーも、参加後には「ひとり暮らしをしたい」へと気持ちが変わっていました。ひとり暮らしは、実際には大変なことも多いですが、今回の経験を通じてポジティブなイメージを持ってくれたらいいと願っています。また、ひとり暮らしには、生活に必要なスキル(調理、掃除、洗濯、お金の管理など)が求められますが、これらの習得は、ひとりでは足が重く、なかなかできません。その為、今回の体験を通じて、学ぶことが多くあったように思います。

引き続き、YMCAで、仲間やリーダーと一緒に学ぶ場を設けていきたいと考えています。

最後に、未来を担う子どもたちの自立に向けて、共に歩んでいきたいです。

(木下遥七)



<中高生の居場所>

2023年10月1日蓮馨寺(川越市)にて「アースデイ川越 in 昭和の街2023」が行われました。

川越センターも「アースデイ」にブースを出させていただきました。アースデイ川越とは、環境問題、国際交流を主なテーマに1999年から毎年開催されている市民参加型イベントです。

去年に引き続き今年も、SDGsをメインテーマに、子どもから大人まで、すべての人が持続可能な社会について考

えるために実施されました。様々な団体の活動紹介があり、参加しながらアースデイや SDGs について知る場面が設けられました。

中高生のメンバーには YMCA のブースの準備から当日のブース運営をお願いしました。当日の役割分担やバスケットゴールやモルックを行う場所など、みんなで話し合いをし自分たちで決めました。こういった活動を通して、事前準備の大切さや最後まで役割を果たす責任感を身につけて欲しいという思いがあります。仲の良い、気の知れた仲間たちと共に活動することで、メンバーが自分を表現できる居心地の良い場所になることを願っております。

これからも地域に根差した活動を積極的に行っていきたいと思います。(長谷川洋輔)



(編集後記)

今月も皆さんの寄稿によりブリテンが発行できることに感謝しています。

私は、昨年のこの時期、腸閉塞治療のため入院していましたが、幸い、今は全く後遺症もなく、健康に過ごしています。早食いは禁物で、よく噛んでたべましょう。とは言うものの、私は長年の習慣の早食いに戻ることがあり、家内にしよっちゅう注意されています。

いよいよ、我が川越クラブの誇りである利根川恵子メンの晴れ舞台の時が近づいてきました。心からお祝い申し上げます。私は、日本から、アジア太平洋地域大会の盛会を祈っています。Have a nice trip!

今年は猛暑・酷暑の夏が過ぎたと思ったら涼しさを経ずして急に寒くなったように感じます。皆さん、どうぞ、健康に留意して日々をお過ごしください。

(K.Y.)